

## 【QCサークル本部 年度方針】

QCサークル活動（小集団改善活動）により、  
日本全体の“仕事（業務）の品質質”のダントツ化を図ろう！

## 【QCサークル山形・秋田地区 スローガン】

新しい時代への環境変化に対応し、QCサークル活動(小集団改善活動)を効率的に推進しよう！

## 【QCサークル東北支部 スローガン】

QCサークル活動（小集団改善活動）を通して  
仲間を増やし地域の活性化に繋げよう！

## 【QCサークル山形・秋田地区 年度方針】

1. QCサークル活動(小集団改善活動)PRによる賛助会員拡大推進
2. 環境変化に応じたDXによる地区運営の効率化推進
3. 地域に密着し産・学・官への働き掛けによる企業・団体に貢献できる活動の推進
4. 幹事力向上の推進(他地区行事参加による情報交換・交流会・企業見学会等を企画)

## 【QCサークル東北支部 年度方針、重点活動】

### 1.各企業・団体へのQCサークル活動(小集団改善活動)のPR活動推進

- (1)支部・地区の連携と情報の共有化を図り、新たな企業・団体へQCサークル活動(小集団改善活動)の楽しさを伝える広報活動を展開する。
- (2)支部・地区活動の基盤強化のために、賛助会員会社との情報交換やニーズを反映した行事等により関係性の強化を図りながら、新規賛助会員会社の拡大や賛助会員会社からサポート幹事会社、更には幹事会社への段階的拡大を図る。
- (3)本部・支部・地区が連携し、普及拡大のルート・働き掛けの方法、大会・行事・研修会の実施方法を工夫し取り組む。

### 2.環境変化に応じた支部・地区運営の活性化と効率化推進

- (1)DXによる運営の創意工夫（IT技術の活用や標準類の見直しなど）で、役員・幹事（事務局）の業務の負荷軽減を図る。
- (2)行事運営や研修会等をチーム東北として、各地区の特色を生かしながら地区間の相互支援、交流会、企業間交流を図るとともに、ベンチマークを推進する。
- (3)ニューノーマル化への対応のため、大会行事や研修会などにはオンライン開催、ハイブリッド開催等運営の工夫を図る。

### 3.地域に密着し企業・団体に貢献できる活動の推進

- (1)第三次産業と中小規模企業へサークル活動を通じた交流のあり方、及び支援活動への推進方法の工夫を図る
- (2)産・学・官への積極的な働き掛けによって支部・地区活動基盤を強化する。

### 4.幹事力向上の推進

- (1)支部・地区主催の幹事研修会等の実施により、幹事の自己成長と社内改善活動の活性化に繋げ、組織への貢献に役立てる。
- (2)役員・幹事・事務局の情報交換・交流会・企業見学会等を企画・開催する。

## 【QCサークル山形・秋田地区 重点実施項目】

1. QCサークル活動(小集団改善活動)PRによる賛助会員拡大推進
  - (1)賛助会員会社との情報交換やニーズを反映した行事開催などにより関係性の強化を図り、新規賛助会員会社の拡大や賛助会員会社からサポート幹事会社、更には幹事会社への段階的拡大を図る。
  - (2)地区間の相互支援、交流会、企業間交流を推進する。
  - (3)役員が企業に足を運び、QCサークル活動をPR化し賛助会員の拡大化を図る。
2. 環境変化に応じたDXによる地区運営の効率化推進
  - (1)デジタル技術を活用し、客観的な審査、運営の人手不足解消や行事運営を効率的に推進する。
  - (2)行事運営や研修会等は、支部・地区間で情報共有し実施方法を工夫し取り組む。
3. 地域に密着し産・学・官への働き掛けによる企業・団体に貢献できる活動の推進
  - (1)大会の産・学・官協力運営や地元新聞社PRでWin、Winの関係を継続
  - (2)中小企業や生活を支える福祉・小売業（スーパーマーケットなど）・教育団体と連携を取り協力関係を築き支援活動の推進と聴講者増員働きかけ
4. 幹事力向上の推進
  - (1)行事参加を通じ、企画・運営・評価・表彰など幹事能力の向上を図る
  - (2)各行事において、役割毎に指導者を設定し、若手幹事を育成する。

		研修会 参加者数	大会 参加者数	大会参加 企業数	大会発表 件数	賛助会員 数	幹事会社数	体験談 推薦件数
2020年度	実績	コロナ禍により中止				31	2	0
2021年度	実績	179	375	32	9	31	2	2
2022年度	実績	159	86	35	9	31	2	2
2023年度	目標	100	320	50	13	40	3	2
	実績	44	198	29	11	30	2	2
2024年度	目標	60	250	40	12	35	3	2